

平成27年度市長と語る会 要旨

日 時 平成27年10月29日（木）19：00～21：01

場 所 北多久公民館

出席者 市民17人

1部《マイナンバー制度》

1 市長より制度概要の説明

2 情報課より手続き説明

《質疑応答》

質問	マイナポータルは、自分のパソコンで見ることができるということですね。
回答	自分のパソコンにICカードリーダーを接続し、個人番号カードを差し込んで暗証番号を入力しアクセスすることによって自分の情報を見ることができます。
質問	ということはウィルスが入ってくることはないですね。
回答	そこが一番大事な所ですので、ウィルスは入ってこないはずです。
質問	盗難に遭った際、再発行の際番号は変わりますか。
回答	通常の紛失では番号は変わらず再発行となりますが、番号が流失して悪用される恐れが想定される場合は、本人申請や役所の職権で変えることとなります。
質問	90歳や100歳の方でも本人申請ですか、代行でも可能ですか。
回答	基本本人の意思、希望で個人番号カードの申請が必要で、市も本人確認をしてカードを渡すこととなります。個人番号カードの申請は強制ではありません。通知カードでも本人確認書類を添えると番号手続きに関して事足ります。高齢の際は、ご家族の判断も必要かなと思います。
質問	個人番号カードの申請が強制でないなら意味がないのでは。
回答	国は一律強制ということを憚って、希望制にしていますが、便利なサービスが受けられる世の中になるためには多くの皆さんに持っていただいた方が良いでしょう。
質問	個人番号カード取得のためには、市役所に来て申請しなければならないということですね。
回答	申請時はご自身で投函やメールでもできますが、パスポート取得と同様に受け取りの時に本人確認のため一度市役所に来ていただく必要があります。もし一度に50人、100人が市役所に来られるなら公民館で受け付けるとか検討した方がいいかなとも思っています。
質問	この個人番号カードは住民票、印鑑証明書等を取得する際に必要となりますか。
回答	今住民票を取る際、本人確認のための免許証が必要ですが、それと同じ様にこのカードは本人確認書類として使えます。免許証をお持ちでない方は自分を証明するも

	のとして是非申請していただきたいなと思います。ご本人にとって便利になります。
質問	市としてはカード化を進めるという立場ですね。
回答	はい国としても、国全体が便利になるということで進めております。
質問	高齢社会で申請が面倒ということ、コンピュータ操作が苦手という方もおられますが、まだまだ理解不足の現状ですので、進められるのであれば自治区単位での説明会等もっと必要かなという気がします。
回答	区長会、民生委員会、老人会などで説明を行っています。また105の行政区の内要請で48行政区を出前講座という形で廻りました。今後も要請があれば行う予定です。
質問	今日の会場見てもまだまだ事前のアピールが徹底されていない。本来ならもっと多くの人に来てしかるべきで、興味が無いのかどうか知らないがもっとPRの工夫をすべきと思いました。
回答	ご意見参考にさせていただきます。
質問	この会のPRがもっと必要。またこの制度の説明は、年寄りにもわかるようにもっとゆっくり丁寧にしていきたい。
回答	わかりました。

2部《市政報告》

市長より市政報告

《質疑応答》

質問	農業についてはどう思われていますか？女一人で米を作っていますが、猪被害で苦慮しています。
回答	専業の人が自立してやれる農業と兼業の方が多いので土日・週末、仕事をしながらできる農業、それぞれをしっかり支える施策を行っていききたい。なお法人による農業への参入に関してはやや慎重に対応をしていきます。 基本的には儲かる農業、稼げる農業、次の世代にバトンをつなげる農業になるよう工夫をしながら政策を行っていきます。
質問	国道203号線バイパスの無料化の見通しはいかがですか。またこの道路の玄海原発避難道路として玄海町まで伸ばす計画はありますか。
回答	多久から巖木までの区間を管理している佐賀県道路公社なので無料化には佐賀県議会の議決が必要ですが要望はしています。災害や雪で一般道の通行が無理な際にこのバイパスに無料で通行させるのもお互い便利で安全ですと県に申し上げています。玄海町までの延伸は良い提案だと思います。今長部田までつながっているのを唐津の西九州道路まではタッチする計画はありますので、これをどう伸ばしていくかがポイント。佐賀県と連携し、予算など九州整備局、国交大臣等にも要望していきます。
質問	文教の里と言う割には、本屋さんもないし、図書館建設の話を以前聞いたのですがどうなっているのでしょうか。

回答	図書館は単独で建設したいと思っています。大人も子どもも使いやすく交流できるスペースを作ります。財源は研究しながら急げるものは急いで作りたいと思っています。本屋について、誘致の努力はしますが、民間は採算ベースで検討されます。文教の里としては図書館での読書、本・資料の提供ができればと持っています。
質問	市長は農業についてどう思っておられるのかお尋ねします。女手一つで農業をやっていますがイノシシの被害で困っています。又小侍川（雇用促進住宅付近）の草掃除はどうされていますか。
回答	専業、兼業いずれもしっかり支える施策をすべきと考えておりますが、法人化についてはやや慎重にすべきと思っています。基本はもうかる、稼げる、次の人にバトンをつなげるような農業施策をすべきと思っています。イノシシ対策は多久・小城地区の猟友会による駆除頭数は増加していますが対応に苦慮しています。今ワイヤーメッシュ設置を行っています。時間はかかりますが、森林と中山間地域両方の施策を連携しながらしっかりとやらなければと痛切に思っています。小侍川の件は、下流側から今工事を行っています。ヨシの繁茂の問題は浚渫や改良工事等関係機関連携してしなければと感じています。
質問	かずらの様な草が道までできていますので、あれをどうにかして頂けたらと思います。
回答	改めて、現地を見て対応を考えます。道路の草の問題は管理者が国・県等ですぐにできない場合もあります。国県の予算も以前の3分の1になっており困っている状況です。
質問	多久市の人口減少問題をどう捉えておられるのか、（10年・20年先の見通し）市長として何の施策を優先すべきと考えておられるのかをお尋ねします。
回答	人口減少への対応は、地方創生戦略プランで位置付け、減る前提ですが、定住、産業を起こすこと、就業機会を増やすことなどを施策として考えています。重点施策は、クリーンセンター（旧ゆうらく跡地）の立ち上げを活性化の起爆剤と考えています。また企業誘致にも力を入れています。以上が当面の重点施策です。まずは住んでいる人が生きがい、健康、幸福を感じられるあるまちづくりを地道に着実にやっていきます。また目立ちませんが重要な福祉・健康にもしっかりと取り組んでいきます。